

「十字架上での最初の3時間(1)」

ヨハ 19 : 18~27

1. はじめに

(1) 文脈の確認

- ① イエスは、刑場(ゴルゴタ)に着いた。
- ② 午前9時から正午までの3時間
* 人の怒りを体験する時間
- ③ 正午から午後3時までの3時間
* 神の怒りを体験する時間
- ④ 今回は、最初の3時間の前半について学ぶ。

(2) A. T. ロバートソンの調和表

§ 164 十字架上での最初の3時間

マコ 15 : 24~32、マタ 27 : 35~44、ルカ 23 : 33~43、ヨハ 19 : 18~27

2. アウトライン

- (1) 十字架の形状(18節)
- (2) 罪状書き(19~22節)
- (3) 最初の祈り(ルカ 23 : 34)
- (4) 着物の分配(23~24節)

3. 結論: 旧約聖書の預言の成就

- (1) 十字架を担うイエス
- (2) 町の外で苦しむイエス
- (3) 十字架上で苦しむイエス
- (4) 着物をはぎ取られるイエス
- (5) ふたりの犯罪人とともに十字架につけられるイエス

十字架での最初の3時間の意味について考えてみよう。

I. 十字架の形状(18節)

1. 18節

Joh 19:18 彼らはそこでイエスを十字架につけた。イエスといっしょに、ほかのふたりの者をそれぞれ両側に、イエスを真ん中にしてであった。

- (1) イエスは、午前9時に十字架につけられた。

- ①「十字架につける」という動詞は、「スタウロオウ」である。
- ②「十字架」という名詞は、「スタウロス」である。

(2) 十字架の形状(4種類)

- ①一本の柱
- ②X字型(ペテロは、X字型の十字架にさかさまにつけられたという伝承がある)
- ③T字型
- ④十字型

(3) イエスがつけられた十字架はどれか。

- ①イエスの頭上に罪状書きが釘付けにされた。
 - *マタ 27:37、マコ 15:26
- ②このことから考えると、①一本の柱、または、④十字型に絞られる。
 - *①一本の柱と②X字型は、主にイタリア国内で用いられた。
 - *100%確実ではないが、④十字型の可能性が大である。

(4) 地面に置かれた十字架の上に寝かされ、体に釘が打ち込まれた。

- ①もし十字型であるなら、3本の釘が用いられた。
 - *両手にそれぞれ1本で計2本が打ち込まれた。
 - ・手のひらではなく、手首に釘が打たれた。
 - ・手のひらに打ったなら、体重を支えることができない。
 - *両足を揃えて1本
- ②次に、十字架が立てられ、あらかじめ掘っておいた穴の中に落とされた。
 - *罪人は、この状態で数時間から数日生き延びた。
 - *水分のみ与えられた。

(5) イエスを真ん中にして2人の罪人が十字架につけられた。

- ①恐らく、バラバの反乱に加わっていた反逆者たちであろう。

II. 罪状書き(19~22節)

1. 19~20節

Joh 19:19 **ピラトは罪状書きも書いて、十字架の上に掲げた。それには「ユダヤ人の王ナザレ人イエス」と書いてあった。**

Joh 19:20 **それで、大ぜいのユダヤ人がこの罪状書きを読んだ。イエスが十字架につけられ**

た場所は都に近かったからである。またそれはヘブル語、ラテン語、ギリシヤ語で書いてあった。

- (1) ピラトが罪状書きを書いた。
 - ①罪状書きを付けて十字架刑を執行するのは、当時の習慣である。
 - ②この場合の罪状書きは、「ユダヤ人の王ナザレ人イエス」というタイトルである。
- (2) ヘブル語、ラテン語、ギリシア語で書いてあった。
 - ①都に入る門のそばであったので、そこを通る多くのユダヤ人がそれを読んだ。
 - ②文字が読める人は、全員イエスの主張を読むことができた。

2. 21～22節

Joh 19:21 そこで、ユダヤ人の祭司長たちがピラトに、「ユダヤ人の王、と書かないで、彼はユダヤ人の王と自称した、と書いてください」と言った。

Joh 19:22 ピラトは答えた。「私の書いたことは私が書いたのです。」

- (1) 祭司長たちは、「ユダヤ人の王」というタイトルを事実として扱うことを嫌った。
 - ①彼らは、「彼はユダヤ人の王と自称した」と書き直すことを要求した。
- (2) ピラトは、それを拒否した。
 - ①「私の書いたことは私が書いたのです」とは、ピラトの皮肉である。
 - ②これまでに十分、お前たちの悪事に協力してきたという思いがある。
 - ③神の皮肉は、ここに至ってピラトはようやく真理を宣言したということ。

Ⅲ. 最初の祈り (ルカ 23 : 34)

1. ルカ 23 : 34

Luk 23:34 そのとき、イエスはこう言われた。「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」彼らは、くじを引いて、イエスの着物を分けた。

- (1) ルカの視点は、イエスの死が旧約聖書の預言の成就であるという点ではない。
 - ①それは、マタイやヨハネの視点である。
 - ②ルカは、イエスが死に瀕しても、罪を赦すメシアであることを示そうとする。
- (2) イエスは、自分を殺そうとしている人たちのために祈られた。
 - ①無知のゆえに、イエスを殺そうとしている人たち
 - ②その罪の重さを認識していなかった人たち
 - ③この祈りによって、神の怒りが鎮められた。

IV. 着物の分配(23~24節)

1. 23節 a

Joh 19:23a さて、兵士たちは、イエスを十字架につけると、イエスの着物を取り、ひとりの兵士に一つずつあたるよう四分した。

(1) 死刑囚の持ち物を死刑執行者の間で分割するのは、当時の習慣である。

①イエスの衣服を4分した。手作りの衣服だったので、今よりも高価であった。

②アウター、インナー、頭を包む布、サンダル

2. 23節 b~24節

Joh 19:23b また下着をも取ったが、それは上から全部一つに織った、縫い目なしのものであった。

Joh 19:24 そこで彼らは互いに言った。「それは裂かないで、だれの物になるか、くじを引こう。」それは、「彼らはわたしの着物を分け合い、わたしの下着のためにくじを引いた」という聖書が成就するためであった。

(1) 縫い目なしの着物

①ギリシア語で「キトン」である。

②これは「下着」ではない。

③体全体を包み込む、首から足先までである上着である。

④大祭司の衣との対比があると思われるが、ヨハネはそれには言及していない。

(2) その上着は4分すると価値がなくなる。

①そこで彼らは、くじを引いた。

②これが預言の成就となった。

結論：旧約聖書の預言の成就

①神の栄光のため

②読者への語りかけ

③現代のメシアニック・ジューとの関係

1. 十字架を担うイエス

(1) 創 22:6

Gen 22:6 アブラハムは全焼のいけにえのためのたきぎを取り、それをその子イサクに負わ

せ、火と刀とを自分の手に取り、ふたりはいっしょに進んで行った。

(2) たきぎを負いながらモリヤの山に登るイサクは、イエスの型である。

- ①父アブラハムに従順に従うイサク
- ②イエスは、その型の成就である。

2. 町の外で苦しむイエス

(1) ヘブ 13 : 11~13

Heb 13:11 動物の血は、罪のための供え物として、大祭司によって聖所の中まで持って行かれますが、からだは宿営の外で焼かれるからです。

Heb 13:12 ですから、イエスも、ご自分の血によって民を聖なるものとするために、門の外で苦しみを受けられました。

Heb 13:13 ですから、私たちは、キリストのはずかしめを身に負って、宿営の外に出て、みもとに行こうではありませんか。

(2) 宿営の外で焼かれるいけにえの動物は、イエスの型である。

- ①イエスは罪のための供え物として、門の外で苦しみました。
- ②私たちへの適用は、宿営の外に出て、みもとに行くことである。

3. 十字架上で苦しむイエス

(1) 詩 22 : 14

Psa 22:14 私は、水のように注ぎ出され、／私の骨々はみな、はずれました。／私の心は、ろうのようになり、私の内で溶けました。

(2) 十字架が立てられ、穴に落ち込むときに、体に衝撃が走る。

- ①体中の関節がはずれる。
- ②イエスの苦しみは、この預言の成就である。

4. 着物をはぎ取られるイエス

(1) 詩 22 : 18

Psa 22:18 彼らは私の着物を互いに分け合い、／私の一つの着物を、くじ引きにします。

(2) イエスは、最後の持ち物まで取り上げられた。

- ①イエスの愛は、「余すところのない愛」である。

5. ふたりの犯罪人とともに十字架につけられるイエス

(1) イザ 53 : 12

Isa 53:12 それゆえ、わたしは、多くの人々を彼に分け与え、／彼は強者たちを分捕り物としてわかちとる。／彼が自分のいのちを死に明け渡し、／そむいた人たちとともに数えられた

からである。／彼は多くの人の罪を負い、／そむいた人たちのためにとりなしをする。

(2) イエスは罪人と同じようになられた。

①イエスは罪人の罪を負って死なれた。

②イエスは、復活し、昇天し、今は大祭司として執り成しをしておられる。

③信者は、イエスにあつてすでに天のところに置かれている。